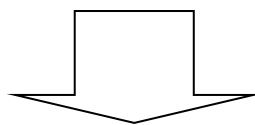


| | 育てたい力 | 具体的な授業改善策 |
|----|---|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> 文章をじっくり読んでいく中で、文章に親しみ、自ら疑問をもち、解決しようとする事。 漢字や言語に対して関心をもち、学ぼうとする事。 | <ul style="list-style-type: none"> 読書タイムを活用して、本に親しむ時間を多く作っていく。 漢字の課題を工夫し、漢字に親しむ力を身に付けさせる。 |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> 学習を通して気付いたこと、疑問に思ったことを自らの生活や経験を基に、推測すること。また、必要な情報を集め自分の考えをまとめること。 | <ul style="list-style-type: none"> 社会への視野を広げるために新聞や資料から自分たちの生活と政治のつながりについての情報を得るようにさせる。また、各自が考えをもった上で話し合いを行っていく。 |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> 未知の課題に対して、既習事項を活用したり、類似点を見付けたりして、正しく立式すること。 学んだことを日常生活と結び付けて考えたり、日常生活の中でどのように使えそうか考えたりすること。 | <ul style="list-style-type: none"> 指導者が観点を与え、既習事項と比較して考えたり類似点に気付かせたりする。また、数直線をもとにして立式させる。 特に発展的な場面や単元のまとめとなる場面において考えたり実感させたりする機会を設けることで、算数を身近に感じたり学んだことを生かしたりさせ、学んだことと日常生活を関連付けるようにする。 |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> 学習内容を理解し、観察・実験に関する基本的な技能を身に付けること。 課題を解決する中で、予想や仮説を基に解決の方法を根拠立てて考えること。 観察や、実験の結果からどんなことが言えるのか、自分の考えをまとめて伝えていくこと。 | <ul style="list-style-type: none"> 観察・実験の目的を事前に示し、意識付けを十分に図る。 授業前に予備実験を行った上で、より安全な方法や道具の操作を指導していく。 まとめ方を具体的に伝えることで、自信をもって文章を作れるようにする。 |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> 自己の課題を的確にとらえ、その課題解決のための方法を自己の能力に合わせて考え、運動に取り組むこと。 運動の楽しさや喜びを味わい、自ら運動しようとする事。 | <ul style="list-style-type: none"> 毎時間のめあてを一人一人が意識できるように学習カードを活用する。 友達同士で見合う場を作り、互いに良さや課題を伝え合い、めあてを達成できるようにする。 児童それぞれの課題解決に合った場を設定する。 ルールや場の設定を工夫し、一人一人が役割を見付け、楽しく運動に取り組めるようにする。 |
| 道徳 | <ul style="list-style-type: none"> 教材を通じて、道徳的価値をよりよく生きる上で大切なことだと理解し、自分なりの考えをもつこと。 どんな問題に対しても、自分自身が今後関わっていくという意識をもつこと。 | <ul style="list-style-type: none"> 授業の始まりと終わりで、自分の考えが深まったり、変化したりしたことが分かるように、ノートやワークシートを活用する。 自分の考えをもち、表現する時間を確保する。 教師の説話を入れることで、児童が今後生きていく中で、考えられる問題であることを意識させていく。 |
| 総合 | <ul style="list-style-type: none"> 各自が興味・関心をもった内容から課題を見だし、適切な情報収集能力の育成と表現力を高めること。 | <ul style="list-style-type: none"> 児童に学習の見通しや目的を伝えていく。 情報収集する時間を十分確保する。 疑問に感じたことや問題であると考えられたことを課題としていく。 |
| 家庭 | <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの生活体験を振り返り、自分の生活に役立つ工夫を考えること。 | <ul style="list-style-type: none"> 生活の仕方に関する基礎知識を習得できるように、ワークシートなどを工夫していく。また、日常的な過ごし方の中でも、どのような取り組みがあるかを考えさせていく。 |

| | | |
|-----|--|---|
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けること。 ・音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにすること。 ・主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら様々な音楽に親しむとともに音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする事。 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業のねらいを明確にし、旋律、リズム、強弱、速度、音色などと曲想との関わりについて理解できるようにする。運指や奏法の基礎を押さえ、スモールステップや発展的に工夫できる教材を選ぶようにする。 ・音楽を聴いて感じたこと、気づいたことを基に、互いの思いを共有しながら音楽表現ができるようにする。楽曲や演奏の良さを伝えるために、言語活動を通して、自分の思いや友だちの思いを交流させながら、音楽を味わって聴くことができるようにする。 ・導入時の音楽の出会いを既習事項と関連させながら工夫し、個人の学習活動を保証すると同時に、交流、ペア、グループ学習を有効に取り入れる。様々な音楽をバランスよく取り入れ、日常の音楽との関わりを意識できるようにする。 |
| 図工 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分や他者の感覚や行為を通して、造形的な見方考え方を深めること。 ・材料や用具を活用し、表し方などを自分で発想し構想を重ねながら、創造的に作ったり表したりすること。 ・親しみのある作品などを鑑賞し、造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じとったり考えたりし、他者の感じ方に触れながら自分の見方や感じ方を深めること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・造形的なよさや面白さを深めるために、既習の道具や材料を使ってよいことを常に伝える。 ・発想を深めるための手立てとして、相互鑑賞の場の作り方を工夫し、自分と他者の感じ方の相違を感じる機会を持ち、価値観を広げるきっかけをつくる。 ・自分たちの作品や美術作品の鑑賞活動などを通して、自分の感性で作品を感じとるおもしろさを感じるとともに、見方を深め自分の表現に生かしていけるような活動の流れにする。 |
| 外国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国語に対する苦手意識をなくし、親しみながら書くことや聞くことができること。 ・アルファベットの太文字や小文字を書けるようにすること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・流行している英語の曲を流すなど、英語が身近に感じられるように授業を作り上げていく。 ・ワークシートを活用しながら、アルファベットを覚え、中学校での英語の授業にスムーズに入れるようにしていく。 |



| | 成果○ と 課題▼ | |
|----|---|--|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に文章を読もうとする児童の姿が多く見られるようになった。 ○漢字クイズを活用することによって、漢字への抵抗感が少なくなってきた児童が見られた。間違えても大丈夫という気持ちをもてるようになった。 ▼文章自体を読もうとすることはできるようになったが、長文などにおいての重要な箇所を読み取ることには課題が見られた。文章を短く区切って読み取らせるなどの工夫を行っていく。 | |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none"> ○疑問点から授業を構築していくことで、児童が考えを深めながら授業に臨むことができるようになった。ノートをきれいにまとめる児童が多く、振り返りもしやすくなっていた。 ▼抽象度が高くなったり、暗記する内容が多くなったりしたことで、苦手意識が芽生える児童が多く見られた。VTRを活用したり、調べ学習を行ったりして、児童が興味をもって授業に臨めるような方法を考え、取り入れていく。 | |

| | |
|-----|---|
| 算数 | <p>○問題から数直線など、考えるための手段を活用し、問題を解くことができるようになった。</p> <p>○友達と自分の解答を比較検討することで、新たな考え方をを見つけ出すことができるようになった。</p> <p>○日常生活に根付いた問題を多く行うことで、興味関心をもって問題を解くことができた。</p> <p>▼発展的な問題や、文章問題への正答率が他に比べて低かった。問題文から着目するポイントを探し出せるように指導を継続していく。</p> |
| 理科 | <p>○予想を立ててから調べることにより、自分たちですすんで実験を行おうとする意欲が高まった。</p> <p>○生活経験を生かして考えることにより、授業への参加意欲が高まってきた。</p> <p>▼実験を安全に行うために、注意事項を簡潔にし、児童に徹底周知させていく。また、実験中は全体に目を配り、安全管理を行っていく。</p> |
| 体育 | <p>○学習カードを使用することで、学習の見通しをもって参加できたり、ゲームにおけるグループの作戦を考えたりすることができた。</p> <p>○友達や相手チームの良かった動きを見付けて伝え合うことにより、お互いが動きを高め合いながら運動をすることにつながった。</p> <p>○学び合いの高まりにより、お互いに助言をしあうことで、ハードル走などの記録を伸ばすことができた。</p> |
| 道徳 | <p>○自分で考える時間を多くとることで、「こんな時どうすればいいのか？」など、考えを深めることができるようになった。</p> <p>▼自らの生活にまで考えを広げきれず、その場でどの行動が正しいのかを答えるのみにとどまる様子も見られた。自分自身として考えるための工夫を行っていく。</p> |
| 総合 | <p>○大きな議題から、自分自身の考えを深めることができた。「自分探しの旅」では、自分の長所を友達全員から聞き、新たな自分を探し出せたことから、今後どのようなことをしていきたいのかを考えることができた。</p> |
| 家庭 | <p>○ICTを活用したり、手本を用意して提示したりすることで、作成する過程や完成までの見通しがもて、児童の意欲や技術の向上につながった。</p> <p>○理想の給食メニュー作りに取り組んだことは、児童の意欲を高め、栄養のバランスだけでなく、テーマをもった献立作りをすることができた。そのメニューが実際の給食献立となったことも児童の満足度を高めた。</p> |
| 音楽 | <p>○音楽会での学年合奏への取り組みは、技能面でも意欲的に取り組む姿が見られた。また鑑賞を通して曲想の変化を感じ取り、そこからどのように表現を膨らませていくかを主体的に考える意識が広がった。ICTでの映像や写真提示との関連付けての指導が有効だった。</p> <p>○自分の思いや感じたことをどのように表現の工夫につなげるか、個人の思考の時間と周囲との交流の時間を設定したことで、主体的に考えることができた。</p> <p>▼グループでの音楽づくりで、ねらいがぶれた場面があった。指導計画をより精選し、ねらいを焦点化させ児童へ提示する。児童の主体的な取り組みを促す指導計画をより緻密に検討していく。</p> |
| 図工 | <p>○周年の記念式典や音楽会時に、作品を校内に展示することを事前に伝え意欲を高めた。製作の流れや展示の仕方についても説明し、先を見通して工夫する姿が見られた。</p> <p>○既習事項を使った発展的な題材に取り組んだ。限られた時間の中で、思いが深められるようにプリントを利用し、授業時間内で見切れなかった部分は、プリントへの記述などで補うことができた。</p> <p>▼製作後にお互いの作品を鑑賞する時間が充分に取れなかった。製作途中に、友達の発想や工夫に触れる時間が自然にもてるよう、授業の進め方や場の設定を工夫していく。</p> |
| 外国語 | <p>○ゲームを取り入れ、楽しみながら外国語を行うことができた。児童にとって身近な楽曲を聞きながら、聞こえた単語を見付け出すことができた。</p> <p>▼ローマ字の基本的な知識が定着していないとできない単元も多く、ワークブックを使って復習を行っていた。アルファベットの基本的な定着ができるようにワークシートを活用できるようにしていく。</p> |

